社会福祉法人三島市社会福祉協議会

令和３年度事業報告書

わが国では、少子・高齢化が進む中、今後も確実に人口の減少が見込まれ、生産年齢人口も継続的に減少することから、従来の制度のままでは多くの問題が生じることが予測されます。また、社会情勢の変化とともに、核家族の増加や近隣住民同士の関係の希薄化、地域社会への関心の低下など、住民意識も大きく変化しており、地域で支え合う機能が弱まる中で生活課題や福祉ニーズは増大し、その内容は複雑化・多様化しています。

国では、このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向け、施策の検討・実施が進められています。

三島市社会福祉協議会では、新たに作成した第 4 次三島市地域福祉活動計画に掲げた様々な取り組みを着実に実施するとともに、社協活動に対する市民の理解を深め、より多くの皆さまにご協力して頂けるように分かりやすい情報発信に努め、「地域福祉の推進を図ることを目的」と位置付けられた社会福祉協議会の「公共性」と、民間組織としての「自主性」という 2 つの側面を併せ持つ組織力を活かし、地域住民やボランティア、福祉・保健などの関係者、行政機関などとの連携により、「市民の誰もが安心して、自分らしく、いきいきと、自立した生活ができる地域社会の実現」を目指し、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策をとる中、各種事業・活動が自粛や縮小となることもありましたが、いかに地域福祉を留めずに推進していくかを考えながら、各種事業に取り組んでまいりました。

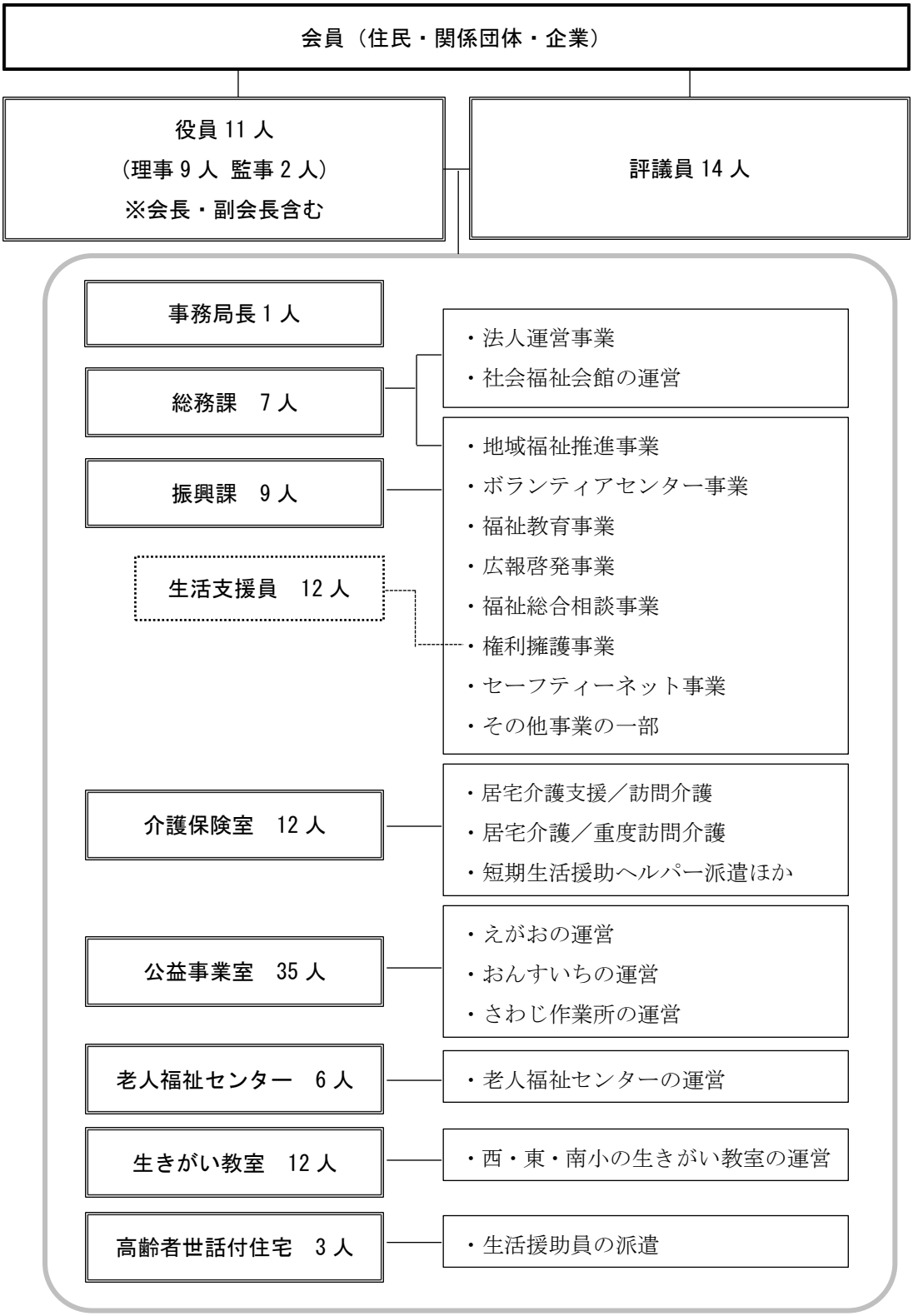
以下、各事業の推進状況等について報告いたします。

Ⅰ　重点項目

1	地域福祉活動計画の推進
2	福祉に関する意識の醸成
3	地域の担い手づくりとネットワーク
4	分野を横断した相談支援体制づくり
5	権利擁護体制の構築

Ⅱ　組織構成と事業体型図

（令和４年３月 31 日現在）



Ⅲ　実施事業報告

１　法人運営事業

（１）組織運営のための会議等の開催

本会の定款に基づき、法人運営に必要な「理事会」、「評議員会」、「監事監査」を開催しました。

① 理事会の開催状況

開催日	議題等
令和３年 ６月９日(水)	・令和２年度三島市社会福祉協議会事業報告(案)について ・令和２年度三島市社会福祉協議会資金収支決算認定について ・令和３年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・三島市社会福祉協議会定時評議員会に提案する監事候補者について ・三島市社会福祉協議会定時評議員会に提案する理事候補者について ・三島市社会福祉協議会評議員選定員会に提案する評議員選任候補者の推薦及び評議員選定員会の開催について ・定時評議員会の招集について
令和３年 ６月 25 日(金)	・三島市社会福祉協議会会長・副会長・常務理事の選定について ・三島市社会福祉協議会評議員選定委員の選任について
令和３年 ９月 15 日(水) (書面による議決)	・会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・三島市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程(案)について ・三島市社会福祉協議会指定介護予防訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程(案)について ・三島市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所の運営規程の一部を改正する規程(案)について ・令和３年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和３年度三島市社会福祉協議会社会福祉大会における三島市社会福祉協議会会長表彰について ・三島市社会福祉協議会社会福祉振興基金管理委員会委員の選任について ・評議員会を決議の省略の方法により行うことについて
令和３年 12 月９日(木)	・令和３年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・評議員会の招集について

令和４年 ３月 16 日(水)	・会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程(案)について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程(案)について ・三島市社会福祉協議会押印等の見直しに伴う本会各規程の一部を改正する規程(案)について ・令和３年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和４年度三島市社会福祉協議会事業計画(案)について ・令和４年度三島市社会福祉協議会資金収支予算(案)について ・評議員会の招集について

②評議員会の開催状況

開催日	議題等
令和３年 ６月 25 日(金)	・令和２年度三島市社会福祉協議会事業報告(案)について ・令和２年度三島市社会福祉協議会資金収支決算認定について ・令和３年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・三島市社会福祉協議会監事の選任について ・三島市社会福祉協議会理事の選任について
令和３年 ９月 25 日(土) (書面による議決)	・会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・令和３年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について
令和３年 12 月 20 日(月)	・令和３年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について
令和４年 ３月 25 日(金)	・会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・令和３年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和４年度三島市社会福祉協議会事業計画(案)について ・令和４年度三島市社会福祉協議会資金収支予算(案)について

③監事監査の開催状況

開催日	議題等
令和３年 ５月 25 日(火)	令和２年度事業及び決算の監査

令和３年 11 月 10 日(水)	令和３年度中間監査

④その他会議の開催状況

開催日	会議名・議題
令和３年 ６月 15 日(火)	評議員選定委員会 ・三島市社会福祉協議会評議員の選任について

（２）会費の状況

区分	当年度		前年度	
	件数	金額	件数	金額
住民会費 (1 世帯 200 円)	39,895 件	6,960,340 円	40,077 件	6,990,600 円
団体会費 (1 口 1,000 円以上)	48 件	117,000 円	48 件	112,000 円
賛助会費 (1 口 1,000 円以上)	184 件	353,000 円	176 件	333,000 円
合計	40,127 件	7,430,340 円	40,301 件	7,435,600 円

（３）寄附金の状況

区分		当年度		前年度	
		件数	金額	件数	金額
一般寄附金	法人運営拠点区分	16 件	2,348,340 円	16 件	633,715 円
	えがお拠点区分	7 件	127,791 円	4 件	40,215 円
	さわじ作業所拠点区分	6 件	125,050 円	8 件	290,300 円
	おんすいち拠点区分	2 件	12,000 円	3 件	50,000 円
合計		31 件	2,613,181 円	31 件	1,014,230 円

（４）社会福祉振興基金及び社会福祉整備積立金等の状況

退職給与積立金は 10,312,250 円を積み立て、年度末必要額 91,809,560 円とし、資金運用積立金は 5 つのサービス区分で合わせて 13,000,000 円を積み立て、車輌購入等積立金はおんすいちの車両購入に 500,000 円を取り崩し、積立金等累計額は 812,847,992 円となりました。

基金等種類	前年度末積立金	本年度積立金(上段) 本年度取崩額(下段)	積立金累計額
社会福祉振興基金	542,843,383 円	0 円 0 円	542,843,383 円
社会福祉整備積立金	136,196,713 円	0 円 0 円	136,196,713 円
退職給与積立金	81,497,310 円	10,312,250 円 0 円	91,809,560 円
資金運用積立金	27,148,336 円	13,000,000 円 0 円	40,148,336 円
施設整備積立金	500,000 円	0 円 0 円	500,000 円
車輌購入等積立金	1,850,000 円	0 円 500,000 円	1,350,000 円
合計	790,035,742 円	23,312,250 円 500,000 円	812,847,992 円

２　地域福祉推進事業

（１）地域福祉活動計画の周知

「地域福祉活動計画」とは、市町行政が策定した「地域福祉計画」と連携し、住民及び福祉関係団体や事業者などが地域福祉の推進に主体的にかかわるために、市町社協が中心となって策定する具体的な活動計画です。三島市社協では、前計画の策定から 5 年が経過し、福祉を取り巻く環境が大きく変化する中、時代の要請に応じた地域福祉の取組を進めるために、これまでに取り組んできた内容を見直し、令和 3 年 4 月から令和 8 年 3 月までの 5 ヶ年を計画期間とする「第 4 次三島市地域福祉活動計画」を令和 3 年 3 月に策定しました。

本計画の周知・啓発を図るため、福祉関係団体を対象とした会議や地域住民を対象とした講座等において内容を説明・紹介するほか、誰もが閲覧できるように本会ホームページからダウンロードできるようにしました。

（２）小地域福祉活動リーダー・福祉の担い手等の養成

住民が主体となって地域福祉活動を進めていけるよう、地域における福祉の担い手養成に取り組みました。

①ノルディックウォークでいきいきボランティア講座

開催場所：三島市社会福祉会館

開催日	内容	参加者
令和３年 11 月 24 日（水）	地域の現状、ボランティア活動、運動、ノルディックウォークの基礎ほか	５名

②ノルディックウォークを通したボランティア活動

ノルディックウォークでいきいきボランティア講座修了者を対象に、ノルディックウォークを通して健康増進を図りながら、地域で実施するボランティア活動について検討する活動を実施しました。

日付	参加者
令和３年４月７日（水）	５名
令和３年５月 12 日（水）	５名
令和３年６月２日（水）	３名
令和３年 11 月 10 日（水）	３名
令和３年 12 月８日（水）	１名
令和４年１月 12 日（水）	５名

（３）生活支援コーディネーター業務

日常生活において、支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続できるよう、第２層生活支援コーディネーターとして高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備に取り組みました。

①三島市及び第１層生活支援コーディネーターとの打合せ会

日付	場所
令和３年４月８日（木）	三島市社会福祉会館
令和３年５月 11 日（火）	三島市社会福祉会館
令和３年６月 10 日（木）	三島市社会福祉会館
令和３年８月６日（金）	三島市社会福祉会館
令和３年９月９日（木）	三島市役所
令和３年 10 月７日（木）	三島市役所
令和３年 11 月８日（月）	三島市役所
令和３年 12 月７日（火）	三島市役所
令和４年１月６日（木）	三島市役所

令和４年２月８日（火）	三島市役所
令和４年３月３日（木）	三島市役所

②各関係会議参加による地域の福祉課題と社会資源の把握

ア．介護予防・生活支援体制整備推進協議会に参加

日付	場所
令和３年６月 29 日（火）	三島市役所
令和４年３月 ８日（火）	三島市役所

イ．自立支援サポート会議に参加

日付	場所
令和３年４月 21 日（水）	三島市役所
令和３年５月 19 日（水）	三島市役所
令和３年６月 22 日（火）	三島市役所
令和３年７月 21 日（水）	三島市役所
令和３年８月 18 日（水）	三島市役所
令和３年 10 月 20 日（水）	三島市役所
令和３年 10 月 27 日（水）	三島市役所
令和３年 11 月 17 日（水）	三島市役所
令和３年 12 月 15 日（水）	三島市役所
令和４年１月 19 日（水）	三島市役所
令和４年２月 16 日（水）	三島市役所
令和４年３月 16 日（水）	三島市役所

（４）居場所・サロンの支援

地域における互助の振興を目的に、住民主体による居場所・サロン活動の立ち上げ・運営継続のための支援に取り組みました。

①居場所・サロン等の登録状況

ア．居場所・サロン

No.	名称	地区	
1	井戸端会議	北上	光ヶ丘
2	木曜サロン	北上	徳倉
3	歩歩笑サロン	北上	光ヶ丘
4	ほっとカフェ	北上	富士ビレッジ
5	介護予防カトレア体操	北上	芙蓉台
6	芙蓉台自治会居場所	北上	芙蓉台

7	たまりばかど	北上	富士ビレッジ
8	コミュニティースペース・ジモット	北上	徳倉
9	居場所 101	北上	光ヶ丘
10	沢地遊和会	北上	沢地
11	富士見台サロン	北上	富士見台
12	ちょっくらカフェ	旧市内	西本町
13	シャルマンカフェ	旧市内	加茂川町
14	サロン大宮	旧市内	大宮町
15	さくらサロン	旧市内	加茂
16	南二日町サロン	旧市内	南二日町
17	コミュニティカフェ悠遊	旧市内	若松町
18	ひなたぼっこの会	旧市内	大社町
19	にこにこ会	旧市内	南田町
20	加茂喜楽会	旧市内	加茂
21	居場所太陽	旧市内	栄町
22	交流喫茶なみき	錦田	並木
23	Welcome サロン三恵台	錦田	三恵台
24	すずめ会	錦田	谷田
25	旭ヶ丘なかよし体操	錦田	旭ヶ丘
26	旭ヶ丘カフェ	錦田	旭ヶ丘
27	初音台夏すみれ	錦田	初音台
28	玉沢健康体操“弥生”	錦田	玉沢
29	錦田元気体操「喜楽会」	錦田	谷田
30	すこやかサロン	錦田	小山押切
31	ひだまりの会	錦田	中
32	中・福祉会健幸サロン	錦田	中
33	さんすい	錦田	城の内
34	夏梅木コミュニティカフェ	錦田	夏梅木
35	コミュニティカフェ安久	中郷	安久
36	シェアカフェ・クリチバ	中郷	藤代町
37	東大場図書カフェ	中郷	東大場
38	山のサロン	中郷	パサディナ
39	新谷コミュニティカフェ“花笑み”	中郷	新谷
40	サロン松本	中郷	松本
41	多呂サロン	中郷	多呂
42	ラジヨガ７	旧市内・北上・中郷	南本町・光ヶ丘・パサディナ

イ．認知症カフェ

No.	名称	地区	
1	オレンジほっとカフェきたうえ	北上	萩
2	おれんじほっとサロン	旧市内	中央町
3	すまいるカフェ☺錦田	錦田	谷田藤久保
4	ふらっとうめな	中郷	梅名
5	和カフェしゃぎり庵	旧市内	芝本町

ウ．地域（子ども）食堂・学習支援

No.	名称	地区	
1	三島子育て学習サポート寺子屋	錦田	谷田
2	なとり塾	旧市内	西本町
3	みんなのえがおおたまちゃん食堂	旧市内・錦田	中央町・谷田

②居場所・サロン連絡会

居場所・サロンの連携、情報交換、共有等を図るため連絡会を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和 3 年 10 月	書面によるアンケートの実施	－
令和 4 年 3 月 18 日（金）	各居場所の現状について情報交換及びボッチャの体験　開催場所：三島市社会福祉会館	20 団体 20 名

③ボッチャ用具の整備・貸出

今年度、三島市障がい者スポーツ大会用にボッチャ用具を 3 セット整備しました。できるだけ多くの方にボッチャを体験していただき、この体験を通して福祉への理解・関心を深めるきっかけや、地域交流の新たなツールとなるよう、居場所・サロン等の団体へ令和 4 年 2 月より貸出を開始しました。貸出件数：4 件

④身近な地域の居場所づくり助成事業

居場所の開設・運営に必要な経費を年間開所日数に応じて助成。また、世代間交流を行う団体に対して助成金を１万円加算するほか、新型コロナウイルスの状況等を鑑みて、「集まらなくてもつながる仕組みづくり」（電話訪問、お便りの送付など）を行う団体に対して助成金を２万円加算し活動を支援しました。

名称	年間開所日数	世代間交流	つながる仕組み	助成額
サロン大宮	12	○	○	40,000 円
ひなたぼっこの会	24	－	○	35,000 円
三島子育て学習サポート寺子屋	60	○	－	40,000 円
初音台夏すみれ	36	－	－	15,000 円
芙蓉台自治会	12	○	○	40,000 円
多呂サロン	12	－	○	30,000 円
さくらサロン	44	－	－	25,000 円
居場所太陽	96	－	－	30,000 円
たまりば・かど	50	○	○	60,000 円
すこやかサロン	12	○	－	20,000 円
旭ヶ丘カフェ	90	－	－	30,000 円
中　福祉会　健幸サロン	47	－	－	25,000 円
なとり塾	68	－	－	30,000 円
沢地遊和会（沢地高齢者交流の会）	51	○	○	60,000 円
ひだまりの会	12	－	○	30,000 円
歩歩笑サロン	9	○	○	40,000 円
ちょっくらカフェ	46	－	－	25,000 円
光ヶ丘県営住宅自治会「居場所 101」	48	○	－	35,000 円
合計 18 団体				610,000 円

（５）地域支え合い会議（勉強会）の開催

地域住民と共に、地域の困りごとや課題を共有し、解決に向けた取り組みを考えていくため、標記勉強会を市内５地区で開催しました。

※令和３年度より旧市内地区を三島南地区・三島北地区の２つに分けて開催

地区	日付	場所	参加者
三島南	令和３年７月 13 日（火）	三島市社会福祉会館	８名
	令和３年 11 月 19 日（金）	三島市社会福祉会館	10 名

	令和４年３月 10 日（木）	三島市社会福祉会館	６名
三島北	令和３年７月 16 日（金）	三島市社会福祉会館	15 名
	令和３年 11 月 17 日（水）	三島市社会福祉会館	８名
	令和４年３月９日（水）	三島市社会福祉会館	９名
北上	令和３年７月 12 日（月）	北上文化プラザ	５名
	令和３年 11 月 26 日（金）	北上文化プラザ	７名
	令和４年３月 25 日（金）	北上文化プラザ	５名
錦田	令和３年７月 14 日（水）	錦田公民館	18 名
	令和３年 11 月 29 日（月）	錦田公民館	12 名
	令和４年３月 22 日（火）	錦田公民館	16 名
中郷	令和３年７月６日（火）	中郷文化プラザ	６名
	令和３年 12 月９日（木）	中郷文化プラザ	８名
	令和４年３月 17 日（木）	中郷文化プラザ	４名

（６）買い物支援モデル事業

地域支え合い会議で話し合われた意見を基に、移動・外出手段の確保が困難で日常生活の買い物に不便を感じている高齢者が、自分らしく健康的で生き生きと暮らし続けることができるように、自宅とイトーヨーカドー三島店の間を送迎し、自由に買い物できるように支援する標記事業について、モデル地区の錦が丘自治会をはじめ、行政や機能訓練型デイサービス East-one、静岡中央高等学校ボランティアの協力を得て令和３年度１年間実施しました。

①利用登録者：８名

②利用実績

実施日	利用者	備考
令和３年４月 19 日（月）	７名	左記のほか、意見交換会を開催 ・令和３年 10 月 25 日（月）
令和３年５月 17 日（月）	５名	

令和３年６月 21 日（月）	３名	・令和４年２月４日（金） ・令和４年３月 24 日（木） また、行政主催による三島市移動・外出支援セミナー「10 月 15 日（金）」へ錦が丘自治会関係者、利用者等と共に参加し標記事業の取り組みを発表。
令和３年７月 19 日（月）	４名	
令和３年８月 16 日（月）	２名	
令和３年９月 13 日（月）	５名	
令和３年 10 月 18 日（月）	３名	
令和３年 11 月 15 日（月）	５名	
令和３年 12 月 20 日（月）	４名	
令和４年１月 17 日（月）	５名	
令和４年２月 21 日（月）	５名	
令和４年３月 14 日（月）	６名	

（７）法人間連携推進会の開催

福祉課題等に対応した地域の福祉サービスの一層の充実が図られるよう、複数法人が参画するネットワークを構築し、当該参画法人が持つそれぞれの強みを活かすことを通じて、福祉課題等の解決に向けた協働による取組を推進する会議を開催しました。※高齢者福祉サービス事業を行う 13 法人へ依頼

開催日	内容	参加
令和４年 １月 31 日（月）	地域課題の共有、パンフレット制作のテーマ ※オンライン開催	６法人
令和４年 ３月 23 日（水）	地域課題の共有、パンフレット制作の掲載内容 ※オンライン開催	６法人

（８）その他、地域福祉推進に向けた取り組み

①地域ケア会議等への参加

開催日	主催	会議テーマ
令和３年 ４月 16 日（金）	徳倉地域共生社会	地域共生社会の取組み、方向性について

令和 3 年 5 月 18 日（火）	北上地区地域包括支援センター	地域の高齢者の生活問題を考える（徳倉）
令和 3 年 6 月 11 日（金）	徳倉地域共生社会	地域共生社会の取組み、方向性について
令和 3 年 7 月 29 日（木）	北上地区地域包括支援センター	家族協力の得られない高齢者の支援について
令和 3 年 10 月 22 日（金）	徳倉地域共生社会	地域共生社会の活動拠点、地域課題の把握について
令和 3 年 10 月 28 日（木）	中郷地区地域包括支援センター	複合化した支援ニーズに対応できる関係者間のネットワーク構築について
令和 3 年 11 月 26 日（金）	中郷地区地域包括支援センター	認知症で独居であっても消費者被害から守るための対策を地域として考える
令和 3 年 12 月 21 日（火）	中郷地区地域包括支援センター	生活全般、内服、金銭管理に支援が必要だが、支援拒否がある独居ケース
令和 3 年 12 月 24 日（金）	徳倉地域共生社会	徳倉地域共生社会と地域コミュニティ協議会について
令和 4 年 1 月 13 日（木）	北上地区地域包括支援センター	認知力低下の独居高齢者の在宅生活を地域の協力で継続する
令和 4 年 3 月 10 日（木）	中郷地区地域包括支援センター	身寄りのいない高齢者の入院や施設入所について
令和 4 年 3 月 15 日（火）	中郷地区地域包括支援センター	習慣的飲酒による生活課題を抱える方の支援
令和 4 年 3 月 25 日（金）	徳倉地域共生社会	徳倉地域共生社会と地域コミュニティ協議会について

②講師派遣

地域福祉の振興・向上に資するため本会職員を講師として派遣しました。

開催日	対象	内容
令和 3 年 7 月 14 日（水）	シャルマンコーポ三島管理組合及び町内会役員	市内各地域における高齢者支援の取り組みについて

３　ボランティアセンター事業

（１）ボランティア登録

効果的な情報発信とボランティアコーディネート等に活用するため、ボランティア登録の受付を行いました。

（令和 4 年 3 月 31 日現在）

内訳		登録数
グループ	高齢者に関わる活動	17 件
	障害者等に関わる活動	10 件
	児童・子育てに関わる活動	18 件
	災害時に関わる活動	7 件
	環境に関わる活動	17 件
	趣味・特技・資格等を活かした活動	11 件
	その他の活動	17 件
	計	97 件
個　人	傾聴、読み聞かせ、マジック、被災地支援ほか	154 名

（２）ボランティアコーディネート

ボランティアに関する様々な相談に応じるほか、ボランティア登録の受付、活動先の斡旋・調整などを行いました。

主なコーディネート内容
・市内視覚障がい者を対象とした広報みしま等の点訳・音訳 ・選挙開票時の点字判読者派遣 ・録音図書作成時の日本文藝家協会への著作物使用許諾申請 ・福祉施設等イベント時のボランティア募集・派遣 ・ボランティア活動希望者への活動先斡旋 ・社会貢献活動に取り組む企業の発掘・支援 ・福祉関係団体が行う活動の周知・協力・呼びかけ　ほか

（３）三島市ボランティア連絡協議会の事務局運営

ボランティア活動の推進や会員相互の交流・連携を深めることに賛同したグループと個人会員から構成される 154 名の組織の事務局を担い、他市町で活動するボランティアとの交流、フードドライブの活動等の手伝い等を行いました。研修会については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会員全体ではなく各グループや会員で実施しました。また、年間の活動費として助成金 150,000 円を交付しました。

（４）将棋ボランティア「一七の会」の事務局運営

地域で生活している高齢者等と将棋の対戦相手をするボランティアとして平成 27 年 11 月 17 日に立ち上げ、以降、当会で事務局を担い活動調整を行っています。また、従来の活動のほかに世代間交流を含めた将棋教室を開催しています。

新型コロナウイルスの拡大防止のため、活動は自粛しましたが、会員へ近況につ

いてや今後の活動について確認を行いました。

（５）折り紙ボランティア「おりひめ」の事務局運営

令和元年 11 月 1 日に折り紙を通じたボランティア活動グループとして発足し、月 1 回メンバーで集まり、折り紙をしながら楽しく交流を行い、その活動内容の検討や日程調整を行っています。また、「おりひめ隊」として、居場所やサロン等へ出向き、折り紙を通して地域住民と交流を図るなど、地域福祉の担い手として活動をしています。

活動日	内容	場所	参加者
令和 3 年 4 月 30 日（金）	菖蒲	三島市社会福祉会館	28 名
令和 3 年 5 月 28 日（金）	薔薇	三島市社会福祉会館	22 名
令和 3 年 6 月 25 日（金）	台紙(クラフトハンド)	三島市社会福祉会館	25 名
令和 3 年 7 月 16 日（金）	紫陽花	三島市社会福祉会館	21 名
令和 3 年 11 月 19 日(金)	クリスマスリース	三島市社会福祉会館	22 名
令和 3 年 12 月 17 日(金)	寅だるま（干支）	三島市社会福祉会館	24 名
令和 3 年 12 月 21 日(火)	起き上がりこぼし	北上小学校 1 年生(派遣)	60 名
令和 4 年 3 月 30 日（水）	起き上がりこぼし・兜・紙鉄砲	芙蓉台居場所（派遣）	20 名

（６）ボランティア活動保険等窓口業務の実施

ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を保障する保険の加入手続き等に関する窓口業務を行いました。

保険種類	内容	加入数	保険料総額
ボランティア活動保険	ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を補償	1,056 名	407,700 円
ボランティア行事用保険	地域福祉活動等の行事における主催者や参加者のケガ等を補償	176 行事	115,052 円

福祉サービス総合補償	在宅・地域福祉サービス中の活動従事者のケガや団体・グループの賠償責任を補償	7 団体	165,216 円
送迎サービス補償	移送・送迎サービス中の交通事故などによる利用者のケガを補償	2 団体	8,640 円

※上記加入者への事故対応 4 件

（7）ボランティアグループ等事業費補助

住民主体による福祉活動の支援及び地域福祉向上に資する為、ボランティアグループが実施する公益的な活動や児童青少年健全育成に取り組む団体が実施する事業について、経費の一部を補助しました。

①ボランティアグループ事業費補助

グループ名	事業名	補助額
介護予防カトレア体操	介護予防運動教室	35,000 円
三島市人権擁護委員会	人権意識の普及・高揚	18,000 円
音訳サークル「アイ・あい」	視覚障がい者への情報提供	50,000 円
災害ボランティアコーディネーター三島	南海トラフに向けての災害防災対策の強化事業	80,000 円
三島地区更生保護女性会	犯罪や非行の無い明るい社会を目指すため	17,000 円
レインボーハート	子どもの貧困を手助けする	80,000 円
ボランティアグループ「太陽」	交通事故で悲惨な思いをする人を少しでも減らすため	48,000 円
要約筆記サークル「OHP みしま」	難聴者支援	80,000 円
人知笑ねっとワーキングの会	市内高齢者居場所サロン施設慰問演奏備品、消毒歌集等拡充のため	76,000 円
合計 9 団体		484,000 円

②児童青少年健全育成団体事業費補助

グループ名	事業名	補助額
ボーイスカウト三島地区	児童青少年の健全育成	60,000 円

ガールスカウト三島地区連絡協議会	1 日スカウト体験	22,000 円
合計　2 団体		82,000 円

（８）災害ボランティアの振興

「三島市地域防災計画」において、災害時には市と社会福祉協議会が連携して、災害時のボランティア受付、活動場所の斡旋及び配置調整等を行う災害ボランティアセンターを設置することになっています。

この災害ボランティアセンターの円滑な運営と的確な被災者支援が図れるよう災害ボランティアコーディネーター三島と年間9回の定例会を開催しました。また、今年度は、三島ライオンズクラブと三島青年会議所の 2 者と「自然災害発生時における三島市災害ボランティアセンター支援に関する連携協定」を締結したことに伴い、上記 3 者と更なる連携を深めるための訓練を実施しました。

①災害発生時における三島市災害ボランティアセンター支援に関する連携協定

締結先	締結日
三島ライオンズクラブ	令和 3 年 4 月 23 日(金)
三島青年会議所	令和 3 年 10 月 27 日(水)

②災害ボランティアセンター運営訓練

開催日	参加者	備考
令和 3 年 12 月 5 日（日）	39 名	三島ライオンズクラブ 5 名、三島青年会議所 9 名、災害 VC10 名、福祉総務課 3 名、社協 12 名

４　福祉教育事業

（１）福祉教育プログラムの実施

地域で生活している障がいのある方や福祉関係のボランティア活動者で構成する講師連絡会を設置し、学校等からの依頼に基づき、福祉教育プログラムを実施しました。

①講師連絡会構成員

選出区分	氏名	備考
視覚障がい者（盲導犬ユーザー）	杉山典行	
聴覚障がい者（手話講師）	中川みゆき	
身体障がい者（車椅子ユーザー）	清野一博	
当事者家族	清野佳代子	
ボランティア活動者（点字）	高橋洋子	すぎなの会
ボランティア活動者（要約筆記）	西井菜穂子	OHP みしま

②福祉教育メニューの作成

福祉教育プログラムの内容を明確化し、より多くの学校等で活用していただけるように福祉教育メニューを作成して市内小学校 14 校に配布・周知を行いました。

③福祉教育サポーターの育成

福祉教育プログラムの内容の充実化を図り、地域住民と共に子どもたちの学びの場を作り、共に福祉教育事業に取り組むことや地域住民に対しても福祉教育の啓発やボランティアの担い手の育成、ボランティア活動の間口を広げることを目的に福祉教育事業に地域住民と共に取り組むため、令和 3 年 6 月 29 日（火）に「福祉教育サポーター養成講座」を開催しました。15 名が受講し内 14 名が福祉教育サポーターとして登録されて実際に小学校等で体験学習の場で見守りや補助的な立場を担う活動をしています。

④福祉教育プログラムの実施状況

実施日	内容	対象
令和 3 年 5 月 18 日（火）	当事者講師による講話（聴覚障がい・手話）	三島ライオンズクラブ 30 名
令和 3 年 5 月 21 日（金）	福祉と高齢者についての講義	沢地小学校 5 年生 54 名
令和 3 年 6 月 3 日（木）	体験学習（白杖・アイマスク）	錦田小学校 4 年生 85 名

令和 3 年 6 月 16 日（水）	当事者講師による講話（視覚障がい・盲導犬）	錦田小学校 4 年生 85 名
令和 3 年 6 月 18 日（金）	当事者講師による講話（視覚障がい・盲導犬）	沢地小学校 5 年生 54 名
令和 3 年 7 月 7 日（水）	体験学習（高齢者疑似体験）	錦田小学校 4 年生 85 名
令和 3 年 7 月 8 日（木）	福祉と高齢者についての講義	錦田小学校 4 年生 85 名
令和 3 年 7 月 9 日（金）	体験学習（白杖・アイマスク）	沢地小学校 5 年生 54 名
令和 3 年 7 月 14 日（水）	福祉についての講義 当事者講師による講話（聴覚障がい） 当事者講師による講話（視覚障がい・盲導犬）	飛龍高校 2 年生 123 名
令和 3 年 10 月 21 日（木）	福祉と高齢者についての講義	中郷小学校 4 年生 76 名
令和 3 年 10 月 22 日（金）	当事者講師による講話（聴覚障がい）	沢地小学校 5 年生 54 名
令和 3 年 10 月 28 日（木）	体験学習（高齢者疑似体験）	中郷小学校 4 年生 76 名
令和 3 年 11 月 11 日（木）	体験学習（白杖・アイマスク）	中郷小学校 4 年生 76 名
令和 3 年 11 月 18 日（木）	当事者講師による講話（聴覚障がい・手話） 当事者講師による講話（視覚障がい・盲導犬）	中郷小学校 4 年生 76 名
令和 3 年 11 月 24 日（水）	当事者講師による講話（身体障がい・車いすでの生活）	沢地小学校 5 年生 54 名
令和 3 年 11 月 25 日（木）	当事者講師による講話（聴覚障がい）	中郷小学校 4 年生 76 名
令和 3 年 11 月 30 日（火）	当事者講師による講話（聴覚障がい・手話） 体験学習（白杖・アイマスク）	東小学校 5 年生 73 名
令和 3 年 12 月 1 日（水）	体験学習（車いす）	東小学校 5 年生 73 名
令和 3 年 12 月 2 日（木）	当事者講師による講話（身体障がい・車いすでの生活）	中郷小学校 4 年生 76 名
令和 3 年 12 月 9 日（木）	体験学習（車いす）	中郷小学校 4 年生 76 名

（２）バリアフリー教室の開催

国土交通省静岡運輸支局、三島市、本会の共催で、三島市移動等円滑化構想の基本方針の一つである「こころのバリアフリー」を推進するため、標記教室を開催しました。

開催日	内容	対象
令和３年 12 月 9 日(木)	障がい者講話やバリアフリー体験（バリアフリークイズ、車いす体験、低床バス乗降体験）	北小学校 3 年生 111 名

５　広報啓発事業

（１）社協だより「はつらつ」の発行

社協事業の紹介をはじめ、各種福祉サービスや福祉情報を住民に周知するため、社協広報紙「はつらつ」を年５回発行しました。

発行№	110 号	111 号	112 号	113 号	114 号
発行日	令和３年 ５月１日	令和３年 ７月１日	令和３年 10 月１日	令和３年 12 月１日	令和４年 ２月１日

（２）ホームページの運営

令和４年３月にホームページをリニューアルしました。今回のリニューアルでは、市民の皆様がより利用しやすくわかりやすいホームページとなるよう、ページ構成やデザインに工夫を重ね、本会の事業活動や各種福祉サービス・情報等を広く紹介すると共に、本会への理解をより深めて頂けるように努めました。

（３）社会福祉大会の開催

社会福祉の発展に寄与された方々を表彰し、感謝の意を表すとともに、福祉意識の高揚を図りました。

開催日	会場	内容
令和３年 11 月 9 日（火）	三島市民生涯 学習センター	表彰式 三島市社会福祉協議会会長表彰　　32 名

（４）児童福祉週間、老人の日・老人週間の啓発及び障がい者週間の啓発協力

児童･高齢者福祉の理念の普及･啓発の為、市内各所にポスターを掲示しました。また、三島市が実施する障がい者週間に合わせて、市内各所にのぼり旗を設置しました。

６　福祉総合相談事業

（１）相談事業の実施状況

住民の暮らしの中のあらゆる相談に応じるとともに、関係機関との連携や福祉サービスにつなげるなど、適切な援助や助言を行い課題解決に向けた取り組みを行うことを目的に本事業を実施しました。

区分	件数	区分	件数
生計	981 件	財産	9 件
年金	2 件	事故	0 件
職業・生業	8 件	児童	11 件
住宅	2 件	教育・青少年	17 件
家族	2 件	障がい者	263 件
結婚・離婚	0 件	母子・父子	25 件
ボランティア	25 件	高齢者	891 件
健康・衛生	2 件	苦情	1 件

医療	31 件	日常生活自立支援事業	55 件
精神保健	76 件	成年後見制度	1,006 件
人権・法律	2 件	その他	15 件
合計　3,424 件			

7　権利擁護事業

（1）日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助等を行いました。

①相談・援助実績

初回相談	相談援助	合計
13 件	1,256 件	1,269 件

【主な相談援助内容】

・福祉サービスの利用等に関する情報提供、相談、利用手続き、支払い

・年金、福祉手当の受領に必要な手続き、預貯金の出し入れに関する援助

・大切な書類や印鑑等の保管ほか

②契約件数等の内訳

区分	審査	決定	却下	辞退	新規契約	解約	契約件数
認知症高齢者	3 件	1 件	1 件	1 件	1 件	2 件	11 件
知的障がい者	2 件	2 件	0 件	0 件	2 件	0 件	10 件
精神障がい者	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	5 件
その他	1 件	1 件	0 件	0 件	1 件	0 件	1 件
合計	6 件	4 件	1 件	1 件	4 件	2 件	27 件

・解約理由は、本人死亡 1 件、施設入所 1 件

・契約件数は、令和 4 年 3 月 31 日現在

③生活支援員の配置

各利用者の契約内容や支援計画に基づいた支援が円滑にできるように、専門員のほかに生活支援員を 12 名配置し、支援を行いました。

（２）法人後見事業

法人後見事業では、法人として成年後見人等を受任し、認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分でない方が不利益を被らないように、財産管理及び身上監護に関する契約などの法律行為全般を行うとともに、専門職で構成された成年後見運営委員会を設置し、本会の後見業務の指導、適切な後見業務を担保するための会議等を開催しました。

①法人後見受任状況

後見類型	新規	終了	受任件数
後見	0 件	0 件	4 件
保佐	2 件	1 件	8 件
補助	0 件	0 件	0 件
後見監督人	0 件	0 件	1 件
合計	2 件	1 件	13 件

②成年後見運営委員会構成員

選出区分	氏名	所属	備考
法律関係者	原島年央	静岡県弁護士会	委員長
医療関係者	田内美津子	三島市医師会	副委員長
学識経験者	細谷孝一	三島市地域包括支援センター	
法律関係者	井上尚人	成年後見ｾﾝﾀｰﾘｰｶﾞﾙｻﾎﾟｰﾄ静岡支部	
福祉関係者	岩田正徳	静岡県社会福祉士会	
行政関係者	堀井大樹	三島市障がい福祉課	
その他	塩川健太	三島市障がいとくらしを支える協議会	

③成年後見運営委員会の開催状況

開催日	主な内容
令和 3 年 6 月 8 日（火）	新規受任ケースについて
令和 3 年 10 月 4 日（月）	新規受任ケースについて
令和 3 年 12 月 6 日（月）	新規受任ケースについて
令和 4 年 1 月 13 日（木）	監督人の辞任、新規監督人の受任について
令和 4 年 2 月 7 日（月）	監督人に関する家庭裁判所への提出書類について

④法人後見支援員の配置

市民後見人研修修了者へ必要な知識や技術など実務経験を積める場の提供と併せて、法人後見受任ケースの円滑な支援ができるように、法人後見支援員 14 名を

配置し支援を行いました。

（３）市民後見人育成事業

市民後見人を養成するため、下記の通り市民後見人養成研修を実施しました。

また、研修修了者へ法人後見支援員としての登録意向を確認し、希望者に対して面接を行うなど適性を測ったうえで、6 名を法人後見支援員として決定したほか、現在登録のある法人後見支援員を対象にフォローアップ研修を行いました。

①研修の状況（集合研修及び体験実習の会場は三島市社会福祉会館）

研修	テーマ	科目
集合研修 令和 3 年 11 月 9 日（火） 10：00～15：30	オリエンテーション	オリエンテーション
	市民後見概論	市民後見概論
	対人援助の基礎	コミュニケーション技術の取得 自己覚知、傾聴と共感 意思決定支援
在宅学習 ※講義動画の配信 令和3年11月10日（水） ～令和 4 年 1 月 18 日（火）	成年後見制度の基礎	成年後見概論、職務の範囲、 概要、基本視点、法定後見、 任意後見
	成年後見制度の基礎	成年後見制度利用支援事業
	成年後見制度の基礎	日常生活自立支援事業
	対象者理解	高齢者・認知症の理解
	対象者理解	知的障がい者の理解
	対象者理解	精神障がい者の理解
	民法その他の法律の基礎	財産法の基礎
	民法その他の法律の基礎	家族法の基礎
	民法その他の法律の基礎	刑法の基礎 その他の基本法
	関係制度・法律	税務申告等
	関係制度・法律	医療保険制度、年金制度
	関係制度・法律	生活保護制度
	関係制度・法律	高齢者施策、介護保険制度他 高齢者虐待防止法
	関係制度・法律	障害者施策、障害福祉制度他 障害者虐待防止法
	医療連携　前編 医療連携　後編	医療連携、診断書
集合研修 令和 4 年 1 月 19 日（水） 10：00～16：00	家庭裁判所の役割	成年後見における家庭裁判所の役割
	市民後見活動の実際	後見人の活動例、後見監督業務 中核機関の役割
	グループワーク	基礎研修のまとめ
在宅学習 ※講義動画の配信 令和 4 年 1 月 20 日（木） ～2 月 15 日（火）	成年後見の実務①	申立手続き、財産目録、後見計画 収支予定
	成年後見の実務②	身上保護 コロナ禍の予防接種等
	成年後見の実務③	財産管理

	成年後見の実務④	報告書 後見報酬付与
	成年後見の実務⑤	後見事務終了時の手続き 死後事務
体験実習 令和 3 年 12 月～令和 4 年 1 月の期間で 1 時間程度	社協法人後見業務（身上監護の同行）	
集合研修 令和 4 年 2 月 16 日（水） 10：00～16：00	事例検討・まとめ グループワーク	事例報告と検討
	レポート作成	市民後見人像
	修了式	

②令和 3 年度市民後見人養成研修受講者の状況

受講者	修了者	法人後見支援員登録
13 名	10 名	6 名

③市民後見人フォローアップ研修の開催

新型コロナウイルス感染症予防の観点より、集合型研修の実施が困難であったため、成年後見の実務動画を作成し、現在市民後見人を目指し法人後見支援員として活動する 14 名へ送付することで、フォローアップ研修としました。

（４）三島市成年後見支援センター（中核機関）の運営

成年後見制度の利用の促進に関する法律（平成 28 年法律第 29 号）第 14 条第 1 項の規定に基づく中核的な機関として、同制度の利用の促進を図るため下記の業務を行いました。

①広報機能

周りの人の気づきを向上させ、成年後見制度の利用が必要な人の早期発見につなげるために、判断能力の低下に伴って発生する問題や成年後見制度のメリット等を周知しました。

実施項目	備考
センター紹介リーフレットの配布	
センター紹介動画の作成・配信	YouTube にて配信
三島市初の市民後見人の紹介	社協だより「はつらつ」に掲載 報道依頼によるテレビ放映
三島市内親族後見人の紹介	社協だより「はつらつ」にて掲載
資産凍結セミナーの開催	三島北地区地域包括支援センターと共催
会議・勉強会等の講師対応	・弁護士・社会福祉士合同勉強会 ・成年後見制度利用促進セミナー ・成年後見制度利用促進広域研修 ・成年後見業務勉強会 ・伊豆市市民後見人養成研修 ・伊東市市民後見人養成研修 ・三島市民生委員児童委員協議会各部会勉強会 ・日本福祉大学研究協力 ・日本総合研究所実習生対応
視察対応	・茨木県土浦市、土浦市社会福祉協議会 ・熱海市、熱海市社会福祉協議会 ・磐田市、磐田市社会福祉協議会 ・浜松市、浜松市社会福祉協議会 ・三島信用金庫

②相談機能

相談しやすい環境を整備するために、センター職員が対応する一般相談窓口を常設するとともに、専門職団体に協力を依頼し、専門職による専門相談窓口を定期的に開催しました。※専門相談窓口は予約制（1 件 30 分まで）

ア．一般相談窓口／月曜日～金曜日 8：30～17：15

新規相談件数	継続相談件数
197 件	809 件

イ．専門相談窓口／毎月第 1 水曜日 13：00～16：00（弁護士会対応）
毎月第 3 水曜日 13：30～16：30（リーガルサポート対応）

弁護士会対応件数	リーガルサポート対応件数
20 件	4 件

③成年後見制度利用促進機能

弁護士、司法書士、社会福祉士等で組織するコーディネート委員会を設置し、本人が成年後見制度を利用した時に、メリットを感じられるように状況に合わせた支援方針や成年後見人等候補者を検討・マッチングを行い、本人にとっても後見人等にとっても安心して制度が利用できるように支援しました。また、本人の状況に応じて社会資源等の制度以外の利用についても提案し、地域で暮らせる仕組みづくりを行うほか、関係団体との連携と情報共有を推進するため各種会議等を開催しました。

ア．コーディネート委員

選出区分	氏名	備考
弁護士	揚野江利子	委員長
司法書士	鈴木信宏	副委員長
社会福祉士	番場俊文	
精神保健福祉士	澤野文彦	
行政市長申立担当者	堀井大樹	
行政市長申立担当者	藤井平四郎	

イ．コーディネート委員会の開催状況

日時	ケース検討の内訳	
	継続ケース	新規ケース
令和３年４月９日（金）	24 件	7 件
令和３年５月 14 日（金）	18 件	9 件
令和３年６月 11 日（金）	28 件	4 件
令和３年７月９日（金）	21 件	4 件
令和３年８月 13 日（金）	5 件	5 件
令和３年９月 10 日（金）	11 件	7 件
令和３年 10 月７日（木）	5 件	6 件
令和３年 11 月 12 日（金）	7 件	7 件
令和３年 12 月９日（木）	7 件	7 件
令和４年１月 14 日（金）	3 件	7 件
令和４年２月 10 日（木）	15 件	8 件
令和４年３月 11 日（金）	6 件	13 件

ウ．関係機関・団体との意見交換会等開催状況

日時	内容	備考
令和 3 年 9 月 10 日（金）	三島市手をつなぐ育成会との意見交換	三島市手をつなぐ育成会
令和 3 年 12 月 9 日（木）	金融機関・地域包括支援センターとの意見交換	静岡銀行、三島信用金庫、ゆうちょ銀行、地域包括支援センター

エ．三島市成年後見制度利用促進連携協議会開催状況

開催日	内容	備考
令和 4 年 3 月 9 日（水）	センターの令和 3 年度事業報告、令和 4 年度事業計画、関係機関との情報交換	専門職等で構成される委員 11 名、静岡家庭裁判所沼津支部主任書記官 1 名、コーディネート委員 2 名出席

④後見人支援機能

「後見人を 1 人ぼっちにしない」を目標とし、後見人等が一人で悩みを抱えないようにするために、チーム支援を行っていくとともに、気軽に相談できる環境や仲間づくりを推進しました。

実施項目	備考
成年後見ネットワーク勉強会の開催	令和 3 年 4 月 20 日（火）「ガイドラインにおけるプロセス」オンライン研修　47 名参加
親族後見人支援	9 件（初回報告、定期報告の記載の仕方、相談）
成年後見人支援　チーム支援	39 件（ケース会議開催、ケース会議参加、相談）
任意後見人支援	11 件（ケース会議開催、ケース会議参加、相談）

法人（親族）後見人支援	2 件（相談）
地域ケア個別会議支援	10 件（会議参加）

８　セーフティーネット事業

（１）生活福祉資金貸付

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように支援しました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方々に対する貸付事業として、主に休業等により収入に減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のため貸付を必要とする世帯に緊急小口資金特例貸付、また、主に失業等により生活が困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に総合支援資金特例貸付を実施しました。

※貸付の可否や債券管理等は実施主体である静岡県社会福祉協議会となります。

①相談活動状況

項目	件数
貸付相談	1,877 件
償還相談	32 件
訪問状況	0 件
民生委員との連絡調整	8 件
連携（連絡調整）した機関（生活支援センター、福祉事務所ほか）	495 件
合計	2,412 件

②新規貸付件数

項目	申請件数	うち決定件数	貸付決定額
福祉資金	2 件	2 件	99,280 円
教育支援資金	2 件	2 件	1,818,000 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 件	0 円
緊急小口資金	4 件	4 件	400,000 円
総合支援資金	0 件	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件	0 円
緊急小口資金特例貸付	282 件	262 件	54,500,000 円

総合支援資金特例貸付	253 件	261 件	127,510,000 円
総合支援資金特例貸付延長	56 件	46 件	18,030,000 円
総合支援資金特例貸付 「再貸付」	183 件	150 件	77,100,000 円
合計	782 件	727 件	279,457,280 円

（２）生活一時扶助金・食糧支援

解雇や病気等の理由により、初回満額給料日や年金支給日等までに生計の維持が困難な方への支援として、年 1 回 10,000 円を限度とする生活一時扶助金の交付、フードバンクふじのくにより取り寄せた食糧や住民から戴いた食糧の提供を実施しました。

生活一時扶助金	食糧支援
25 件（交付総額 250,000 円）	275 件

（３）歳末見舞金の贈呈

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする世帯が地域で安心して暮らすことができるよう、市民から寄せられた歳末たすけあい募金を活用し見舞金の贈呈を通して支援しました。※対象は、令和 3 年 10 月 1 日現在、三島市の住民基本台帳に登録されている住民税非課税世帯で、担当地区の民生委員・児童委員の支援（継続的な関り等）を必要としている下記のいずれかに該当する世帯。（生活保護は除く）

世帯区分	件数	見舞金額	備考
要介護者のいる世帯	10 件	168,000 円	見舞金額は単身世帯 9,000 円。世帯員が 1 人増えるごと 6,000 円を加算し算出。
ひとり親世帯	25 件	537,000 円	
障がい児・者のいる世帯	29 件	417,000 円	
ひとり暮らし高齢者世帯	58 件	522,000 円	
合計	122 件	1,644,000 円	

９　指定事業所の運営

（１）介護保険事業所及び障がい福祉サービス事業所の運営

利用者本位を基本とし、サービスの質の向上に努めながら住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、介護保険法に基づく「居宅介護支援」・「訪問介護」のサービス、また、介護予防・日常生活支援総合事業の「訪問型(独自/定率)」・「訪問型サービスＡ」のサービス、障がい者総合支援法に基づく「居宅介護」・「重度訪問介護」のサービスを提供しました。

① 従事者数内訳（令和 4 年 3 月 31 日現在）

職種	常勤	非常勤	登録	計
介護支援専門員	1 名	2 名	0 名	3 名
ホームヘルパー	3 名	6 名	0 名	9 名
合計	4 名	8 名	0 名	12 名

② 介護保険事業等収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
訪問介護	311 件	14,519,630 円	1,780,840 円	16,300,470 円
訪問介護公費分	14 件	34,687 円	0 円	34,687 円
訪問型(独自)	248 件	3,730,882 円	508,826 円	4,239,708 円
訪問型(独自)公費分	0 件	0 円	0 円	0 円
居宅介護支援	859 件	13,083,000 円	0 円	13,083,000 円
予防計画作成	456 件	1,949,111 円	0 円	1,949,111 円
合計	1,888 件	33,317,310 円	2,289,666 円	35,606,976 円

③ 障がい福祉サービス事業収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
居宅介護	271 件	9,384,855 円	80,903 円	9,465,758 円
重度訪問介護	12 件	1,157,940 円	0 円	1,157,940 円
合計	283 件	10,542,795 円	80,903 円	10,623,698 円

（２）障がい者通所施設の運営

利用者に様々な生きがいを提供できるように努めるとともに、可能性を広げる支援の充実を目指し、生活介護事業所 2 箇所及び就労継続支援Ｂ型事業所 1 箇所を運営しました。

①運営施設の概要

ア．指定生活介護事業所えがお(所在地:新谷 190-2　定員：40 名)

作業内容	自主作業	クッキー・パウンドケーキ作り、ジャム作り、アルミ缶・古紙リサイクル回収、縫製品、紙すき、ビーズ製品ほか

生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣（食事・排泄・歯磨き・着脱等）の支援、自立に向けた掃除・洗濯・買い物等の支援、創作活動、調理実習、健康支援、身体機能の維持・向上のための支援ほか
	その他	クリスマス会、防災訓練、音楽療法、運動療法、地域清掃ほか

イ．指定就労継続支援B型事業所さわじ作業所(所在地:沢地246-11 定員：20名)

作業内容	自主作業	木工製品、防災製品（黄色いハンカチ)、アルミ缶・古紙リサイクル回収、レーザー加工製品、缶バッジ、共同店舗運営、UVプリント加工
	下請作業	清掃作業（体育館・保健センター等)、バンド巻、軽作業、封入作業、近隣観光施設用製品作り
生活指導内容	就労訓練	基本生活習慣（食事・排泄・歯磨き・着脱等）の支援、作業に必要な技能・接遇などの訓練、買い物訓練、余暇支援、健康支援ほか
	その他	機能訓練、ボランティア交流会、防災訓練、社会見学、地域交流祭り、調理実習、地域の小学校・幼稚園との交流

ウ．指定生活介護事業所おんすいち(所在地:富田町3-19　定員：20名)

作業内容	自主作業	ビーズ製品（きらきらバンド・ブレスレット・携帯ストラップ)、野菜作り、縫製品、ステンシル製品、アルミ缶・古紙リサイクル回収、クッキー・ジャム作り
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣（食事・排泄・歯磨き・着脱等）の支援、調理実習、創作活動、健康支援、身体能力維持・向上（スポーツ・プール・歩行訓練等）ほか
	その他	防災訓練、工場見学、避難所体験、買物訓練、希望外出、手話、音楽療法、詩吟、地域交流ほか

②年代別利用者数（令和4年3月31日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
20歳未満	1名	1名	0名	1名	0名	0名	3名

20～29 歳	10 名	6 名	4 名	0 名	1 名	2 名	23 名
30～39 歳	5 名	5 名	2 名	4 名	7 名	7 名	30 名
40～49 歳	4 名	5 名	3 名	4 名	4 名	0 名	20 名
50～59 歳	1 名	2 名	2 名	2 名	1 名	0 名	8 名
60 歳以上	1 名	0 名	2 名	0 名	0 名	0 名	3 名
合計	22 名	19 名	13 名	11 名	13 名	9 名	87 名
	41 名		24 名		22 名		

③障がい別利用者数（令和 4 年 3 月 31 日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
知的障がい	7 名	11 名	11 名	11 名	11 名	7 名	58 名
身体障がい	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	2 名
重複障がい	14 名	8 名	1 名	0 名	2 名	2 名	27 名
合計	22 名	19 名	13 名	11 名	13 名	9 名	87 名

④開所日数及び利用者数

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち	
	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数
4 月	21 日	41 名	21 日	24 名	21 日	22 名
5 月	18 日	41 名	18 日	24 名	18 日	22 名
6 月	22 日	42 名	22 日	24 名	22 日	22 名
7 月	20 日	42 名	20 日	24 名	20 日	22 名
8 月	20 日	41 名	19 日	24 名	20 日	22 名
9 月	19 日	41 名	20 日	24 名	19 日	22 名
10 月	21 日	41 名	21 日	24 名	21 日	22 名
11 月	20 日	41 名	20 日	24 名	20 日	22 名
12 月	19 日	41 名	19 日	24 名	19 日	22 名
1 月	19 日	41 名	19 日	24 名	19 日	22 名
2 月	18 日	41 名	18 日	24 名	18 日	22 名
3 月	21 日	41 名	21 日	24 名	21 日	22 名
合計	238 日	494 名	238 日	288 名	238 日	264 名

⑤利用者工賃概要

区分	当年度		前年度	
	総額	1人当たり/月	総額	1人当たり/月
えがお	1,414,744円	2,875円	1,124,144円	2,284円
さわじ作業所	3,714,035円	12,895円	3,365,337円	12,193円
おんすいち	629,410円	2,384円	454,790円	1,722円

⑥障がい福祉サービス事業収入内訳

施設名	サービス名	件数	保険給付費
えがお	生活介護(通所)	492件	81,805,264円
さわじ作業所	就労継続支援Ｂ型(通所)	287件	40,830,802円
おんすいち	生活介護(通所)	264件	39,327,713円
合計		1,043件	161,963,779円

１０　受託施設の運営

（１）社会福祉会館の運営（指定管理）

三島市社会福祉会館は、社会福祉事業の振興と市民一人ひとりが福祉活動への関心を深めその育成発展を図るために昭和49年7月に建設されました。この管理運営を三島市から指定管理者として受託し、福祉活動の場を提供し市民の活動拠点として有効に活用して頂けるよう努めています。

今年度も引き続き、国によるまん延防止等重点措置適用期間中及び緊急事態宣言下では新型コロナウイルス感染予防のため、不要不急の会議に対する貸室の利用を中止とし、再開後も貸室の換気や手指消毒の徹底をお願いするとともに貸室の定員を縮小するなど、感染防止に努めました。

また、令和３年度は５年間の指定管理期間の中間年で、外部評価委員会による評価を頂き、財政状況及び管理運営状況等は概ね優良の評価となりました。各委員や利用者の皆さまから頂きましたご意見を反映し、より市民に親しまれる、使い勝手の良い施設となるよう、引き続き運営に努めてまいります。

① 開館日数及び年間利用の状況

・開館日数343日　1日平均47人

利用種別	利用回数	利用人数
民生委員関係	89回	1,368人
身体障がい者関係	285回	3,346人

老人福祉関係	53 回	888 人
児童福祉関係	3 回	66 人
更生保護関係	94 回	1,112 人
社会福祉協議会関係	604 回	3,900 人
その他	218 回	5,597 人
合計	1,346 回	16,277 人

（２）老人福祉センターの運営（指定管理）

三島市老人福祉センター（愛称：いきいきシニア・ふれあいセンター）は、市内のお年寄りの皆さんに対して、各種の相談に応じ、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの場を提供するため、昭和 59 年 4 月に設置されました。

平成 18 年度以降、三島市から指定管理者として受託し、施設の適切な管理と運営に努めています。

シニアクラブとの連携・協力をはじめ、各種講座・教室等を開催するなど、利用者が健康で明るく、生きがいのある生活を送って頂けるよう、利用の促進を図っています。

新型コロナウイルス感染予防のため、二度にわたり国によるまん延防止等重点措置適用期間中は一部業務の縮小を行うとともに、緊急事態宣言を受けた 8 月 20 日から 9 月 30 日までを休館としました。

業務再開後も舞台利用等に一定の利用ルールを設けるなど、感染予防重視の施設運営に努めました。

① 開館日数及び年間利用の状況

・開館日数 258 日　1 日平均 133 人

団体利用者	個人利用者	合計
1,898 人	32,293 人	34,191 人

② 講座・活動等

種　類	内　容	実施回数	受講・参加者数
健康・教養講座	高齢者の食育	3 回	119 人
	薬とくらし(県)	3 回	121 人
	マジック教室	1 回	42 人
	気持ちいいヨガ	4 回	152 人
	心の健康	1 回	43 人
	大正琴	2 回	97 人
	みしま体操	4 回	171 人
生活安全講座	防犯講習	3 回	109 人

	交通安全	2 回	85 人
	消費生活	2 回	100 人
	火災予防	3 回	122 人
脳いきいきクラブ	習字同好会	10 回	95 人
	グラウンドゴルフ	123 回	630 人
	レコード鑑賞	4 回	34 人
	脳トレ・サークル	39 回	353 人
	ウクレレ	17 回	37 人
	フラダンス	15 回	99 人
	囲碁	23 回	46 人
	将棋	106 回	212 人
相談事業	健康サロン	39 回	409 人
	健康相談	随時	604 人
合　　計		404 回	3,680 人

１１　その他の事業

（１）三島市共同募金委員会としての共同募金業務

平成 15 年に社会福祉法人静岡県共同募金会と三島市社会福祉協議会の間に取り交わされた事務申し立てに従い、三島市共同募金委員会の事務を担い、各種募金活動や運営委員会の開催などを実施しました。

【令和 3 年度実績額】

赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
7,231,546 円	2,666,063 円

（２）助成事業

下記団体が実施する事業を助成しました。

団体名称	事業名	助成額
三島市小中学校連合修学旅行団体	準要保護世帯児童への修学旅行費用の助成 （小学校 6 年生　49 件　5,000 円/件）	245,000 円
三島市中学校修学旅行団体	準要保護世帯生徒への修学旅行費用の助成 （中学校 3 年生　51 件　7,000 円/件）	357,000 円

三島市民生委員児童委員協議会	福祉活動に関する事業	412,000 円
	広報紙「ぬくもり」の発行	100,000 円
三島市民間社会福祉施設協議会	民間社会福祉施設職員の質の向上	150,385 円
三島市遺族会	戦没者等の慰霊・参拝事業	80,000 円
合計 5 団体		1,344,385 円

（３）福祉車両・車椅子・介護補聴器の貸出事業

在宅の外出困難な高齢者及び障がい者等の生活圏拡大と社会参加を支援し、日常生活の向上を図ることを目的に実施しました。

福祉車両貸出	車椅子貸出
63 件	145 件

（４）生きがい教室の運営

介護予防事業の一環として、市の委託を受けて市立西小学校、東小学校、南小学校の余裕教室 3 箇所に「生きがい教室」を開設。家庭にとじこもりがちな高齢者に交流の場を提供し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防するため、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する中で 1 日の利用人員を午前・午後各 10 名と制限しサービスを提供しました。

① 利用状況

	西小 生きがい教室	東小 生きがい教室	南小 生きがい教室	合計
開所日数	201 日	203 日	201 日	605 日
延べ利用者数	3,037 人	2,808 人	3,179 人	9,024 人
平均利用者数	15.1 人/日	13.8 人/日	15.8 人/日	14.9 人/日

② 介護予防普及啓発事業の中止

新型コロナウイルス感染防止対策として、介護予防普及啓発事業は 1 年間中止にしました。

③ 実習生の受入れ

看護職等を目指す実習生を積極的に受け入れ、次代の福祉を担う人材育成に協力しました。

実習生	受入期間
順天堂大学保健看護学部　36 名	令和 4 年 1 月 11 日～1 月 12 日（2 日間）
36 名	令和 4 年 1 月 18 日～1 月 19 日（2 日間）

（５）高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

市営加茂住宅Ａ棟で実施している「高齢者世話付住宅(令和 4 年 3 月 31 日現在 14 世帯 18 名居住)」に対して 3 名の生活援助員を配置し、2 交代制のシフト勤務で居住者に対する生活指導及び相談を充実するとともに、安否確認、一時的な家事援助などの生活支援を実施しました。